

鹿児島市教育振興基本計画に基づく市教育行政の視点

- 1 道徳心や社会性を養い、心身ともにたくましい子どもを育成する
- 2 「確かな学力」を持ち、個性あふれる子どもを育成する
- 3 信頼される開かれた学校教育を推進する
- 4 家庭や地域の教育力を高め、社会全体で人づくりを進める
- 5 スポーツや文化の振興を図るとともに、誰もが、いつでも、どこでも学べる環境づくりに努める
- 6 生まれ育った本市の風土を愛し、地域に貢献したいという郷土に対する愛着心を育む

国や社会の要請から

- 1 国の施策、学習指導要領から
 - ・「学びに向かう人間性」「思考力、判断力、表現力」「知識、技能」
 - ・GIGAスクール構想 ・プログラミング教育
- 2 社会の動向や要請から
 - ・人生100年時代 ・国際人育成のための英語教育の推進
 - ・一人一台端末の利活用 ・Society5.0を見据えた人材づくり
 - ・共生社会づくりを目指す人権教育推進とインクルーシブ教育
- 3 新しい生活様式のなかで働き方改革を踏まえた新しい学校の姿

児童の実態、保護者の願いから

- 1 NRT検査、全国学力検査、鹿児島学習定着度調査による個々の学習の課題の把握
- 2 自分の気持ちや考えを持ち、人に伝えることが苦手な児童の増加
- 3 夢や希望を持ち、自己実現にむけて粘り強く努力することができる児童
- 4 心も体も、他とともに大切にできる児童
- 5 子どもの様子が分かり、子どもが笑顔で登校できる学校
- 6 いじめや仲間はずれのない楽しい学校
- 7 児童が自己有用感を感じることができる学校や家庭

めざす子どもの姿

- 1 よく学び、粘り強く考え、自分の考えを表現できる子ども
- 2 優しく思いやりの心を持ち、相手の立場になって考え、行動できる子ども
- 3 何ごとにも積極的に挑戦し進んで体を鍛える子ども
- 4 命の大切さを理解し、いじめや差別を許さない子ども

めざす教職員の姿

- 1 子どもに寄り添い共に学ぶ教職員
- 2 研修に努め、分かる、楽しむ授業に全力を尽くす教師
- 3 ICTを積極的に活用する教師
- 4 組織体の一員として自覚し、協働する教職員
- 5 児童、保護者、地域社会に信頼される教職員
- 6 働き方を見直し、工夫に取り組む教職員

社会に開かれた学校へ

- 1 学校運営の説明責任を果たす学校づくり
 - ・ 学校評議員会、学校評価委員会、信頼できる学校づくり委員会→学校運営協議会への移行準備への取組（令和5年度から）
 - ・ 社会への情報発信…県民週間の公開授業、校区コミュニティ協議会やあいご会活動への参加推進、学校便りの地域回覧、ホームページの更新、校区コミュニティ協議会への参画
- 2 各種団体・機関と連携した学校運営
 - ・ 児童クラブや放課後児童教室、放課後デイサービス団体、県療育センター等の教育支援機関
 - ・ 警察（交番）、民生委員（児童委員）の会

学校教育目標

心豊かで、自主性・創造性に富み、夢に向かってたくましく生きる力を身に付けた児童の育成

- よく考える子（思考力・判断力・表現力の育成）
 思いやりのある子（豊かな情操と人権感覚の醸成）
 ねばり強い子（最後まであきらめなず継続して努力する）
 元気な子（心も体も健康で安全に気をつけて生活できる）

令和4年度の重点目標

- 学びの質を高める教育課程の実施（学習指導要領を踏まえて）指導方法の改善、学習の躰の徹底、家庭学習の充実、Web問題の活用による応用力育成、タブレット活用学習の充実
- 心の教育の充実（あいさつから始まる一日）人権尊重の学校づくり、特別支援教育の充実、挨拶運動の継続、いじめ・不登校課題への迅速・丁寧な対応、情報モラル教育の充実、読書活動の充実（年間100冊/人）、「学校楽しいーと」の活用、保護者と取り組む生活習慣の確立とメディアコントロール
- 健康・安全教育の充実（命を大切にできる児童の育成）感染症対策としての新しい生活様式の徹底、自己管理能力の育成、交通安全指導・防犯指導の徹底、一学校一運動（ラジオ体操）
- 環境教育の充実（整理整頓、一人一鉢）清掃活動の徹底、学校美化緑化・花いっぱい運動の推進

特色ある教育活動

- 1 一学校一改革「明るい笑顔と元気なあいさつ」
- 2 児童会「桜っ子」活動…異年齢交流活動
- 3 朝のボランティア活動…高学年
- 4 読み聞かせ会や親子読書活動（23日親子読書の日）



めざす学校の姿

- 1 子どもの将来を見据え、確実な学力を身に付ける指導に取り組む学校
- 2 安全で安心して勉強できる学校
- 3 人権を尊重し、一人一人を大切にできる学校
- 4 子どもが自己有用感を感じることができる学校
- 5 地域や保護者に信頼され、共に歩む学校
- 6 働きがいのあるプロ意識の高い集団「チーム桜丘西」
- 7 教師の働き方を見直し、変化していく学校「質を落とさず量を減らす」

校内研修の推進

- 1 研究テーマ（3年目）

「自分の思いや考えを適切に表現することができる児童の育成」～目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする実践を通して～
- 2 研究の概要
 - (1) 目的や意図をしっかりと持たせる手だてを行えば、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するのではないかな。
 - (2) 事実と感想、意見を区別する手だてを行えば、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するのではないかな。

・思考力、表現力、判断力の育成へ

